

日本物理学会領域2役員会 議事録

日時: 2017年3月17日(金) 17:30-19:30

場所: 大阪大学 豊中キャンパス C34 会場

司会: 領域2副代表 政宗

出席者: 政宗, 藤澤, 藤田, 本多, 大島, 藤岡, 蔵満, 森田, 後藤, 西浦, 高橋

書記: 高橋

報告事項

翌日の領域2運営会議の資料について確認を行った。

1. 2017年4月からの新役員体制と役割分担の確認

資料に基づいて, 報告があった。

領域代表 政宗(京都工芸繊維大),

領域副代表 洲鎌(NIFS),

領域前代表 上杉(金沢大)

次期役員(就任は2017年春に選出し, 2017年秋より)に関する推薦の依頼があった。

次期役員(就任は2017年春に選出し, 2017年秋より)に関する推薦の依頼があった。

—NIFS から一人選出する必要がある。(後藤さんが決める: 大館さん?)

—理論分野と宇宙物理関係3学会合同セッション担当者として量研機構の白石さん(過去に成行さんから推薦あり)。

—専門分野を考慮して光産業大の森さん(慣性)。

—名古屋大学・前山さんは分野(白石さんと同じ)、地域性(中部圏)を考慮して、今回の候補者枠からははずす。

2. 学生優秀発表賞に関する報告

➤ 2016年秋季大会では、応募総数21件、内4件を選出

➤ 2017年年次大会(応募30件)では20日セッション終了後 C33。

➤ 学生優秀発表賞は、物理学会が設ける賞として、2018年から運用する。

3. 若手奨励賞(第12回(2017年))受賞者報告

2名応募に対して、2名受賞。受賞記念講演は3月20日 11:15-12:25

NIFS 小林達哉さん,

NIFS WANG Hao さん

4. 2017年秋季大会企画セッション提案(Plasma2017より2年間)

セッション名 非平衡極限プラズマ

提案者 藤澤彰英(九大)

5. プラズマ宇宙物理合同セッションの継続に関する提案

第 10 回 物理学会@東京理科大 (2018.3)

第 11 回 地球惑星科学連合@幕張メッセ (2020.5)

第 12 回 日本天文学会@未定(2022.9)

第 10 回 合同セッション世話人 政宗, 蔵満, 森田, 藤岡

現在物理学会はマイページから参加申し込みなので, 外部から申し込みのものに関してどうするのか?(藤岡さんから学会本部に確認する)

→ 藤岡さんより物理学会事務局山口さんへ問い合わせたところ,
「他学会員がマイページ以外からの申し込みことは可能とのことで, 既に実績もあるそうです。申し込みが近づいたら相談させて下さいとのこと」

6. 2017 年秋季大会(Plasma 2017) に関する紹介

➤ 2017 年 11 月 21 日 - 24 日

➤ 基調講演, 招待講演, シンポジウム, 一般講演に関する情報

➤ 物理学会枠の基調講演は, Cary Forest@Wisconsin-Madison で内諾

➤ 招待講演はプログラム委員会による推薦のみ。(推薦締切 4 月 10 日)
ただし, 領域 2 役員会で推薦者を決めるが, 物理学会の承認は必要か?
領域 2 の役員内でメールで流す.

➤ シンポジウムは, 物理学会枠は下記の通り (審議中).

公募開始 3 月 13 日, 提案締切 5 月 8 日

2- プログラム委員提案分 (物理学会から 1 件)

プログラム委員から 1 件 (ERG 衛星?)→加藤さん・三好さんへ打診

3- 一般公募分 (物理学会から 1 件)

メーリングリストに流す→ 高橋. あとは放置でよい.

4- 融合シンポジウム (3 学会以上が関連することが条件) (全体で 2-3 件)

7. 領域委員会の報告

➤ 学生優秀発表賞(物理学会の設ける賞)の実施要領に関して説明があった.
審査委員名簿に関しては, 後日提出とするとしてよいかを, 理事会へ聞く.
文書報告は簡便なものにするように理事会へ要望.

副賞は, 領域 2 の裁量で出してもよいか, 理事会へ聞く. またはなくしてもよい.

8. 日本学術会議の報告 (マスタープラン 2017)

資料に基づいて説明があった.

9. 2017 年年次大会講演数

➤ 今年次大会は 166 件 (内ビーム物理領域 18 件)の一般講演。他シンポジウムおよび招待講演, 若手奨励賞講演 すべて入れると 187 件。早稲田より多い。

10. その他の案内。

➤ 懇親会 (申し込みは現時点で 35 人)

11. AAPPS 報告

- 資料に基づいて説明があった.

以上